

中国（上海）ビジネスサポート

Monthly China News

* 毎月 1 回、定期的に中国より配信致します。

雨、雨、雨、そしてとにかく暑い。30℃はもはや涼しく、35℃超が常。北京の南郊観象台の気温が 35 度を超え、今年 27 日目の猛暑日だったという（18 日付）。同気象台設置後、年間の猛暑日の日数が最も多かったのは 2000 年の 26 日間だったそうだが、今年はその記録を塗り替えたことになる。更に沿海部では台風上陸が続く。まだ 7 月なのに台風なんて…。クラクラする気温の上海より、今月のレポートをお届けします。

（* 写真は暴風雨と台風 5 号到来の隙間の曇り日。人で溢れ返る外灘）



【政治・経済】

- ・ 李強総理、日本国際貿易促進協会訪中団と会談；李強総理が河野洋平会長率いる日本国際貿易促進協会訪中団と北京・人民大会堂で会談、日中貿易の今後について意思確認がなされた。
李総理は、中日は昨年国交正常化 50 周年、今年も中日平和友好条約締結 45 周年を迎え、中日関係は承前啓後の重要な節目にある。共に両国民の心に沿い、時代に沿うことを多く行い、友好的に互いに支持し合い、協力・ウィンウィンを図り、新しい時代の要請にふさわしい中日関係の構築により多くの安定性とプラスのエネルギーを与える必要があることを強調。日本企業による対中投資協力の拡大の支持を約束した。河野会長は日中間の経済・貿易関係の推進、日中友好の増進に尽力し、今後も中国の発展を支持、中国側と相互尊重・相互信頼の精神を堅持し、日中友好協力のたゆまぬ前向きな発展を後押しすると述べた。（人民網 7/6）
- ・ 王毅中共中央政治局委員が日本林芳正外相と会談；王毅中共中央政治局委員は 14 日、インドネシア・ジャカルタで、日本の林芳正外相と会談。複雑化する日中関係について、日本との会談機会が増えていく。王氏は日本側が客観的で理性的な対中認識を確立し、実際の行動によって歴史の教訓を汲み取り、平和的発展路線を堅持しつつ、中日関係が健全で安定した発展の軌道に戻る後押しをすることを望むとした。林外相も建設的で安定した日中関係を構築し、双方の上層部交流のために環境を整えることを望んでいると表明。また、福島原発汚染水の海洋放出問題について日本側の考えを説明し、中国側の理解を求めたが、中国側からは慎重に処分すべきだと強調される一幕があった。（人民網 7/17）
- ・ 李強総理、米国ケリー気候変動問題担当大統領特使と会談；中米間については、昨年習近平国家主席とバイデン大統領がインドネシア・バリ島で会談し、中米関係が早急に健全で安定した発展の軌道に戻るべきとして方向性が一致している。今回李総理は、北京の人民大会堂で米国ケリー気候変動問題担当大統領特使と会談、気候変動対策を通じて中米関係発展の方向性について対談した。李総理は世界的な気候変動対策は極めて困難な課題であり、中米を含む各国が協調を強化し、共通認識を形成し気候変動対策で最大限力を合わせる必要がある。多国間主義を実践し、国連気候変動枠組条約及びそのパリ協定の定めた目標と原則を堅持する必要がある等と、カーボンニュートラル社会実現に向けての両国間の再認識を強調。ケリー特使からも米国が米中関係の安定維持を望んでおり、中国側と協力を強化し、気候変動など差し迫ったグローバルな課題に共同で対処していくことを表明。第 28 回国連気候変動枠組条約締約国会議の成功を後押ししていくと言及した。（人民網・新華網 7/19）

- ・上半期中国 GDP 低成長推移；国家統計局は、1～6 月累計（以下上半期）、4～6 月（以下、第 2 四半期）の GDP を公表。2023 年上半期+5.5%、第 2 四半期（4～6 月）+6.3%。回復傾向とされるが、昨年上半期のゼロコロナ、上海ロックダウンの時期との比較とすれば低成長の見方が強い。（7/17 国家統計局 7/18 新華網）
- ・6月非製造業PMI前月比低下；中国国家统计局サービス業調査センターと中国物流購買連合会（CFLP）がこのほど発表した6月の非製造業購買担当者景況指数（非製造業PMI）は52.2で、前月から1.3ポイント低下。（7/4 国家統計局・新華社・人民網・財経網）
- ・6月消費者物価指数（CPI）横ばい；前年同月比で横ばい、前月比で0.2%低下した。（7/10 国家統計局・新華社）食品価格は+2.3%上昇で天候の影響もあり野菜類、イモ類、果実類、肉類が上昇。非食品は-0.6%となった。（7/10 国家統計局・新華社・財経網）
- ・6月生産者物価指数（PPI）前月比低下；6月の生産者物価指数（PPI）は、前年同月比で5.4%低下、前月比で0.8%低下。（7/10 国家統計局・新華社）

【製造業関連・関連の政策等】

- ・中国ガリウムとゲルマニウムの関連品目の輸出規制；中国がガリウムとゲルマニウムの関連品目の輸出規制を実施する決定をした。8月1日から適用される。ガリウムとゲルマニウムの関連品目は明らかな軍民両用の性質を持つもので、輸出規制の実施は国際慣行として世界の主要国も規制を実施している。中国政府は、輸出規制は法に基づいたもので、特定国を対象にするものではないとして、公告の発表前に、輸出規制の対話ルートを通じて米国と欧州に事前通告を行っている。（7/7 中国商務部・新華社）
- ・1～5月の自動車輸出額；2023年中国自動車フォーラム（6日・上海）で、1～5月の自動車輸出額が3,280億ドル（1ドル＝約143円）を超えたと発表。中国の新エネルギー車（NEV）輸出が飛躍的に発展、自動車産業は今後、電動化、スマート化、コネクテッド化を進め、産業構造の最適化を図るとした。（7/10 中国機械工業連合会・財経網）
- ・ガソリンとディーゼル燃料値上げ；ガソリンとディーゼル燃料の国内価格を13日午前0時からそれぞれ1トン当たり155元（1元＝約19円）、150元引き上げると発表した。国際原油価格の変動状況を踏まえた現行石油製品価格形成メカニズムに基づく措置としている。（7/13 中国国家発展改革委員会・新華社）
- ・国内車両保有台数4億2,600万台突破；6月末時点の国内のエンジン付き車両保有台数は4億2,600万台、うち自動車が3億2,800万台、新エネルギー車（NEV）が1,620万台に上った。上半期（1～6月）のエンジン付き車両の新規登録台数は1,688万台、運転免許所得者数は1,191万人。6月末時点の新エネ車保有台数は1,620万台で、自動車全体の4.9%。うち、純電気自動車（BEV）は1,259万4千台で新エネ車全体の77.8%を占める。1～6月に新規登録された新エネ車は前年同期比41.6%増の312万8千台と過去最高を更新し、新車登録台数全体の26.6%を占めた。（7/13 中国公安部、新華社）
- ・上半期全国発電量、前年同期比3.8%増；中国の上半期（1～6月）の全国発電量が前年同期比3.8%増の4兆1,680億kw時となった。うち火力発電は7.5%増、原子力発電は6.5%増、風力発電は16.0%増、太陽光発電は7.4%増で、水力発電は22.9%減。6月単独の発電量は前年同月比2.8%増。（7/18 中国国家统计局、新華社）

【トピックス】

1：大連 - 東京羽田線を新規就航

日本と中国各地を繋ぐ航空路線が順調に復活している。日本航空(JAL)は毎月 19 日から、大連 - 東京羽田線を新規就航した。これは中国の東北エリアから羽田へと繋がる唯一の航空路線。これで、大連は、東北エリア初の東京の成田と羽田の両方の空港と繋がる空港となった。

大連-羽田便が就航したことで、到着当日に他の飛行機に乗り換えて日本の各大都市に向かうことができるようになり、大連市と日本との政治、経済、文化などの分野の往来、交流、協力がさらに円滑になると期待されている。日本と繋がるフライト数は上海、北京、大連の順、名古屋・福岡・富山・茨城等、日本各地方都市と中国各地を結ぶ線も順調に復活。往来の選択肢が増えてきている。(7/20 人民網・中国新聞網)

2 : 中国の平均気温、世界を上回るペースで上昇

中国各地で 35℃は当たり前、38℃や 39℃の高温が続いている。中国気象局は「中国気候変動青書(2023)」にて、22 年の世界の平均気温が産業革命前を 1.13℃上回り、十分な気象観測記録が残る 1850 年から 6 番目の高さとなり、2015~22 年は観測史上最も暖かい 8 年と発表。中国の年平均気温は世界を上回るペースで上昇を続けている。22 年の平均地表気温は平年より 0.92 度高く、20 世紀以降の暖かい年が今後続く見込み。1961~2022 年の年平均降水量は増加傾向だったが、地域差が大きく、青蔵地域では顕著に増加、西南地域では全体として減少傾向となった。中国で極端な高温の発生頻度が増加、各地で自然災害をもたらしている。地球温暖化対策や自然保護、脱炭素社会実現が急がれる(7/19 新華社・人民網他)

3 : 30 分の水素充填で 32 時間運行「中国初・水素エネルギー地下鉄施工作業車」

中国初の水素エネルギー地下鉄施工作業車が湖北省襄陽市でラインオフした。従来のガソリン作業車と比べると、同車はそのライフサイクル全体で炭素排出量を累計で 225 トン削減できる。科技日報が伝えた。同水素エネルギー作業車は水素燃料電池とリチウム電池のハイブリッドシステムにより牽引動力を提供し、設計速度は 80km/h、30 分の水素充填で 32 時間連続運行できる。排ガスも騒音も出さず、地下鉄、トンネル、鉱山などの作業分野で広く応用できる。

水素エネルギーの持つゼロエミッション、ゼロ汚染、高エネルギー密度などの優位性がまた一つ中国で実現、実証された。国の地下鉄営業キロは 1 万 km に達しており、建設中は 6000km 以上。地下鉄施工、保守車両の新エネルギー車の普及が加速しており、市場の将来性が明るい。

(7/19 中国都市鉄道交通協会・科技日報・新華網・他)

4 : 中国第 5 世代移動通信システム (5G) 基地局数 284 万 4 千カ所突破

中国の設置済み第 5 世代移動通信システム (5G) 基地局数は 5 月末時点で 284 万 4 千カ所。IoT 端末ユーザー数は 20 億 5 千万人を超えた。工業分野では重要作業工程の数値制御 (NC) 化率が 5 月末時点で 59.4%に上り、デジタル化された現場やスマート工場も増加、同時にソフトウェア産業も成長している。1~5 月の中国ソフトウェア産業の売上高は前年同期比 13.3%増の 4 兆 3 千億元 (1 元 = 約 20 円) を超えた。クラウドコンピューティング、ビッグデータ関連サービスは 16.9%増の 4,366 億元規模となり、経済社会や人の暮らしに入り込んだ通信・IT 技術の牽引は、経済・社会の発展に活気をもたらしている。

(7/10 中国工業情報化部・中国通信社・新華社)

5 : 成都ユニバーシアード開幕

第 31 回 FISU ワールドユニバーシティゲームズ (成都ユニバ) の開会式が 7 月 28 日夜、四川省成都市で行われた。習近平国家主席が開会式に出席し、開会を宣言した。

113 ヶ国・地域から来た 6500 人の選手が、12 日間にわたり、四川省成都市の世界レベルの競技施設で競い合った。選手 6500 人の内訳は男子 3512 人、女子 2988 人。113 ヶ国・地域の内訳は、アジア

が 35 ヶ国・地域、欧州が 36 ヶ国・地域、米州が 15 ヶ国・地域、アフリカが 24 ヶ国・地域、オセアニアが 3 ヶ国・地域。出場選手が比較的多い個人種目は陸上競技、水泳、テコンドー、フェンシングなど。団体種目では、バレーボールに 28 チーム、バスケットボールに 27 チーム、水球に 17 チームが出場し、中国西部地域での若い活力あるイベントに注目が集まった。(7/28 新華社・人民網・四川報他)

【中国・重慶企業交流会速報】

7 月下旬重慶市内で沿海部約 20 社の企業様と重慶地元企業様との企業交流会 (27 日) 及び、長寿開発区の視察 (28 日) が行われました (JETRO 成都・FNA 共同主催)。重慶は西南地方の直轄市。古くは重工業で発展してきており、一番最初に進出してきたのが日系自動車のため、日系製造業への思い入れはひとしおです。現在も、日系自動車、YAMAHA、HOYA、川崎重工等の大手製造業企業が続々と進出し、物流の利便さと西南部地方への開拓拠点としての位置付けから、沿海部地域の日系企業からも注目されています。

今回沿海部からの参加企業様は、①沿海部では難しくなってきた化学品工場の移転先 ②天然ガス資源や水素製造の拠点 ③西南部地域への販売拠点 ④物流新拠点 ⑤OEM 加工先開拓 ⑥中国西部の新規拠点等、様々な目的で参加され、活発な情報・意見交換がなされました。

◎重慶長寿開発区・重慶武蔵塗料有限公司視察

現地の岩崎総経理からは「重慶は思ったより暮らしやすく、地元の人が地元を愛している。人材離れも少なく、落ち着いて事業展開ができる。西部にいて見えてくることも違うし、西部をこれからお考えの方は、色々な角度で事業の方向性を考えて頂きたい。委託生産、共同事業、販売委託等、是非柔軟な取り組み方で、是非西南部を開拓して頂きたいと思います。情報交換や意見交換等、いつでもお越しください。」と仰って下さいました。



昨年化学品工場稼働となった武蔵塗料は沿海部にも拠点がありますが、重慶はその支援製造工場。沿海部リスクを回避できている重慶ならではの製造戦略を取っています。新しい土地にも、日系企業がしっかり息づいています。是非、足を運んでみてください。

(※7/27-28 FNA 筆者全行程同行)



【イベントセミナー】

1:【出展募集中】FBC 深セン 2023 in NEPCON 電子工業展 10 月 11-13 日 深セン国際会展中心

2:【来場募集中】FBC 上海 2023 in PTC 10 月 24-27 日 上海新国際博覧中心

* (公財) 大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。関西広域連合域内の企業は大阪産業局上海代表処を通じて申込みいただくと、(※1) は特別出展割引が適用されます。





コロナ期間中には行けていなかった健康診断。2年ぶりに受診してきた。中国で健康診断？と半信半疑の方も多いでしょうが、最近はドイツや日本の検査機器も多く採用されており、その機材を見るとデータそのものは安心と思いたい…。受診の流れも、今はスムーズ。迷うことなく、次は血液、次はX線等、案内がある。空腹と血液採取でふらふらになりながら、約1時間程の検診終了。中国では検査後に朝ごはんが出る。肉まん2個に、パン2枚、卵1個、豆乳。朝からこんなに食べることはないが、何故かことのほか美味しい。迷うことなく完食。まだまだコロナも油断できない上、猛暑による夏バテ、脱水症状、色々心配があるので、食べて体力は落とさないようにしたいものです。では、次月のレポートにて。

大阪産業局上海代表処 中国（上海）ビジネスサポート
ファクトリーネットワークチャイナ（工場網信息科技（上海）有限公司）

上海市長寧区延安西路2201号 上海国際貿易中心2階268室